

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	図画工作					授業形態		講義		
科目コード	750087	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	園田 博一									
授業概要	<p>本授業では、図画工作の目標と学習内容を理解し、児童の発達段階に応じた造形活動の表現を自ら体感することをねらいとしている。子どもの発達段階を理解しながら、表現の喜び、楽しさを体感してもらいたい。指導者としての立場に立つ自らの技能を高めてほしい。子どもの表現を理解できるようになるために自ら様々な技法や表現を体験していく。素描や版画制作を通して図工表現の基礎を学ぶ。素描材料や版画における用具体験を通し、技法や制作に関するスキルを高める。練習課題や制作を行い制作発表を行う。</p>									
関連する科目	保育内容指導法（造形表現）、教科教育法（図画工作）、図画工作演習									
授業の進め方 と方法	本授業では教科を担う上で必要とされる実技に関する基礎的内容を履修する。素描（デッサン）、色彩、描画材料、デザイン、版画について学修する。図画工作を实践するうえで様々な素材や技法を体験することが教師を支える基礎になると考える。習得した技術を駆使し作品制作を行い発表会にて報告する。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション、自己紹介、講師紹介、図画工作について									
授業計画 【第2回】	素描の学習① 描くということ、自画像に挑戦									
授業計画 【第3回】	素描の学習② 鉛筆のできる表現の広がり 光の表現 グラデーション体験									
授業計画 【第4回】	素描の学習③ 立体感の表現 円柱、球、円錐に挑戦									
授業計画 【第5回】	色に挑戦 三原色について 混色体験									
授業計画 【第6回】	素材体験 クレヨンに挑戦 スクラッチ									
授業計画 【第7回】	クレパスによる描画研究 静物画									
授業計画 【第8回】	デザインの学習① レタリングについて（明朝体、ゴシック体）									
授業計画 【第9回】	デザインの学習② 創作文字									
授業計画 【第10回】	水彩絵の具の研究（透明・不透明水彩画法）									
授業計画 【第11回】	水彩画の研究② 風景スケッチ									

授業計画 【第12回】	版画研究① 版画の種類について
授業計画 【第13回】	版画研究② 紙版画について
授業計画 【第14回】	版画研究③ 紙版画制作
授業計画 【第15回】	図画工作のまとめ（用具、材料、素材、表現）
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図工の基礎実習を通して、表現する楽しさを体感する。</li> <li>・ 表現の基礎となる素描力を身に着ける。</li> <li>・ 子どもの表現を体験し、発達段階の理解につなげる。</li> <li>・ 図画工作科における多様な表現を体験し、表現の幅を拓ける。</li> </ul>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外の学修 【予習】	
授業時間外の学修 【復習】	
課題に対する フィードバック	理論的なことを整理しレポートを提出する。実技実習では制作の取り組み方を評価する。取り組み方への姿勢を評価する
評価方法・基準	授業中の参加態度と提出課題で採点による。（配点割合：発問等30%、課題作品30%、レポート40%）
テキスト	小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編 文部科学省 日本文教出版発行 100円
参考書	『美術による人間形成』 ローエンフェルド 黎明書房 『いっしょに考えよう 図工のABC』 日本文教出版 『図工・美術がもっと好きになる 造形のABC』 日本文教出版 『学びとしての図画工作 題材のABC』 日本文教出版
備考	※受講生は、実技演習ができる服装が望ましい。（準備内容については、事前に予告する。）